

健康ウオツチング

東陽病院 院長 伊藤 文憲

小腸の病気

横芝町の皆さん今日は。今回は小腸のお話しです。前回の十二指腸もその一部ですが、加えて空腸（全小腸の五分の二）と回腸（五分の三）があり、大腸の始めの盲腸に続きます。小腸は全体で6.7mに及ぶ体の中で最も長い管腔臓器です。その一番の仕事は食物の消化と吸収です。小腸の粘膜には小さな腸絨毛と呼ばれる突起があり、表面積は40㎡に達します。そこで盛んに消化液の分泌と吸収が行われます。小腸に続く大腸の病気により通過障害が起こると小腸にもその影響が及びます。消化吸収が不十分になり、腸管内には液体が貯留・拡張し、腹痛を起こします。さらに進行すると、胃や十二指腸に影響して吐き気や嘔吐を生じます。腸閉塞と呼ばれる症状です。早急に検査及び治療が必要となります。

消化液は、胃液・十二指腸液・小腸液等で一日数リット

ルにもなります。再吸収がなされない栄養障害や重症の下痢等が起こり、体力が消耗します。消化吸収機能の障害が起きると「吸収不良症候群」と呼ばれる病気になります。細菌感染の場合は原因に対する対策が必要です。しかし、胃切除術後、慢性膵炎や膵臓切除に伴う膵外分泌不全では消化液と食物との混和が十分となり消化吸収に障害が発生します。また、悪性疾患等で小腸や大腸の広範囲な切除による「短腸症候群」と呼ばれる状態では消化の場所が減少するために障害が起こります。治療としては消化酵素剤のみでは不十分な場合が多く、最近では消化し易くした成分栄養剤や半消化体栄養剤と呼ばれる食品が開発されています。小腸の大半を切除せざるを得ない病気では、カロリーの補給のため、点滴による完全静脈栄養療法が不可欠となります。この場合にはビタミン類や亜鉛や銅等の微量元素の補給が重要です。

小腸の潰瘍性病変としては、大腸に見られる難治性の疾患であるクローン病が小腸にも見られる場合があります。クローン病は、大腸の時に述べますが、若い成人に多く発症し重度の狭窄により手術となり、結果として「短腸症候群」を起こす事もあります。小腸が初発の場合には特に診断が困難で、長く続く腹痛の後で大腸クローン病の診断がなされて始めて小腸クローン病の診断がつか場合があります。小腸の病気としては稀ですが腫瘍があります。全消化管の癌の中では約1%と悪性のものは少ないのですが良性的の場合でも出血により貧血を起こす場合があります。また大きくなると通過障害を起こして来ます。胃や大腸に比較すると、小腸は深部に存在し、検査をすることが難しくなかなかな診断がつかない場合があります。原因のはっきりしない貧血が長く続く場合は小腸の病気を疑って検査を受けることも必要です。

◆産婦人科では、3月31日で産科部門の診療を取りやめます。
4月1日からは、婦人科専門の診療体制となります。
東陽病院 ☎84-1335

文芸

俳句

友訪ね登る坂道寒椿
山茶花と強き競ひし寒椿
長谷川理正
庭隅や物の芽密か日を求め
房總の露地花畑冴返る
今関満喜子
物の芽を踏まずに歩く一歩二歩
冴返る始発電車の音響く
小林 順子
戻り寒風邪の治らぬ身に厳し
凍て返る夜のしじまに湯桶音
福田 幸子
立春や振袖写真送り来る
冴返りつつ天地の動きをり
藤代 ゆう
梅の香や斎昭公の衆寿樓
春障子鉄瓶の湯氣音たてて
戸村 静華
冴返る朝の散歩はかかきずに
果知事も袴すがた豆をまく
若梅あやめ
物の芽や大地の息吹き深く吸ふ
冴返る派兵見送る旗の波
玉虫 栗扇
ものの芽の温みに染まる指の先
加賀友禅晒す犀川冴返る
選者 山口 一秋

短歌

揚げ髪のうち清しき孫となり
新年の挨拶述べてくれます
吉岡 信子
烏瓜赤あり黄あるをめでながら
城跡をけふ夫と散歩す
田崎 尚美
新年の唇に写る臘梅の
黄の冴え冴えと透けるがに見ゆ
八角 三枝
そそぎたる湯呑みに茶柱立ちたるを
心に持ちて働き始む
真家ふじ子
裸木となりたるゆりのき冬の夜を
千手観音となりて立ちます
西山満里子
後輩の初稽古に付き合ふと子は
柔道着下げ出かけゆきたり
秋葉 悦子
洗ひ上げ縁に干したる黒豆の
冬陽を浴びて光おびあつ
宇井 ちい
うづたかく櫛や楓の葉の積もり
筑波山道ほのかに温し
押尾 輝子
日の出待つ人で賑はふ九十九里
洪の焚火の火柱高し
佐瀬 初音
暮れはやく甲斐の湯の町灯がともり
アルプス連峰闇が被さる
萩原 信一
覚悟とはいかなる時にするならむ
霜深き庭に深呼吸せり
永藤 滋
百円バス毎日町を走りくるる
車体に老の笑顔描かれて
池田 春江
九十九里の海面を染めて天空に
こよひ十三夜の月澄みあたり
選者 斎藤つね子

